

前田憲孝 学位論文審査要旨

主査	林	一彦
副主査	井藤	久雄
同	池口	正英

主論文

CYR61 down-regulation correlates with tumor progression by promoting MMP-7 expression in human gastric carcinoma

(ヒト胃癌におけるCYR61の発現低下は、MMP-7の発現を促進して腫瘍進展に関与する)

(著者：前田憲孝、尾崎充彦、庄盛浩平、稲葉愛子、木谷憲典、池口正英、井藤久雄)

平成20年 Oncology 掲載予定

審査結果の要旨

本研究ではヒト胃癌切除標本を用いて、CYR61(cysteine-rich 61)の発現と臨床病理学的項目との比較検討を行い、その臨床病理学的意義を解析している。CYR61は正常粘膜ではセロトニン産生EC細胞に発現していた。CYR61は腺腫、早期胃癌、進行胃癌と進展するに従って発現が有意に低下していた。CYR61発現低下は組織型、進行度、リンパ管浸潤、静脈浸潤、リンパ節転移と有意に相関していた。また、CYR61とMMP-7の発現は有意に逆相関していることが、免疫組織化学とヒト胃癌培養細胞株を用いたウェスタンブロット法で確認された。本研究の内容は、ヒト胃癌の進展過程におけるCYR61の関与を解明したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。